

# 安全だより

第51号

◆発行  
令和3年9月17日



公益社団法人  
下松市シルバー人材センター  
安全委員会

全国統一安全スローガン いつまでも 働く喜び 無事故から

## 《心の安全》



心は全ての人の動作を司る司令塔である事は誰も思うところであるが、人にはバイオリズムと言うものがあり、日々の生理状態、感情知性等が周期的に変化する。例えば、昨日難なくこなせていた仕事が、今日は調子が悪く苦労した。皆さんも経験があるのでは…？ これは、人は日々の生活の中でいろいろのストレスに晒され精神や身体に不安定な影響を及ぼし、正常な判断ができなかったからである。私たちは、誰も多少のストレスや不安を抱え葛藤しながら生活している。安全に物事や作業を行うには、心のストレスをどれだけ負担に感じ冷静に対処し、目標・目的に臨む事ができるかが重要である。安全は、常日頃から節度ある余裕を持った生活に心掛け、如何なる時も慌てることなく、ほど良い緊張感を持って物事に集中し、まずは、ひと呼吸おき冷静に自然体で構える体勢を心掛けることが肝要である。

皆さんも、じっくりと一度自分の日々の生活を見直してみてもいかがでしょうか。



## ★ チームワークで安全に！

仕事を行う上で、何もかも自分ひとりで行い、完結するケースはありません。必ず「前工程」と「後工程」が存在します。

自分のひとつ前を担当する人は自分にできないことができる神様であり、後を担当する人はお客様であるという考えが必要です。

シルバー人材センターの就業の多くが、「前工程」と「後工程」が一緒になって、ひとつのチームとしてチームワークでの仕事となります。そこで自分の次に引き継ぐ人たちが効率よく仕事ができるようにするための意識を持つことが大切です。

チームメンバー同士が聞く耳を持つことで、口も軽くなり情報交換もスムーズになります。チームとして信頼関係を築き安全就業に努めましょう。

## ●安全就業の心得！

安全就業の心得10か条。どこかで聞いた、見た、すでに自分の身についている方もおられるかも知れません。安全の基本的な心得です。この他に、専門的な知識、免許、特別講習、安全ノウハウ等が挙げられますが、まずはこの10か条、自分のものにしておきましょう。

- ① 健康管理 定期検診は必ず受ける。常に健康な状態で就業しましょう。
- ② 十分な睡眠 疲労を回復し、気力・体力の充実を。
- ③ 作業に適したものを 服装・履物・保護具は、その作業に適したもので準備万端に。
- ④ 準備運動 作業前にアキレス腱を伸ばすなど身体をほぐす。
- ⑤ 器具類の点検 保護具や器具類等の不備はないか。使用する前に必ず確認する。
- ⑥ 無理をしないよう 加齢による身体の機能低下を十分認識し、重いものは台車等で運搬する。
- ⑦ 安全第一 急いだり、あわてたりせず、時間も気持ちも余裕をもって。
- ⑧ 整理整頓 就業の場所は常に整理整頓を心がけましょう。安全作業の基本です。
- ⑨ 合図、連絡を正確に 共同で仕事をするときはお互いの安全確認を。
- ⑩ 交通事故にあわないように 行きも帰りも仕事のうち、交差点では必ず一旦停止左右の安全確認を。

## ●安全就業宣言

令和3年度の安全・適正就業推進大会は、コロナ禍のため中止となりましたが大会宣言文を安全だよりに掲載して、大会宣言とします。

### 安全・適正就業宣言

下松市シルバー人材センターは、「安全はすべてに優先する」との基本理念のもと、組織一丸となって、事故ゼロをめざすことをここに宣言します。

一 就業前は常に整理整頓を心掛けます。

二 共同作業では、合図、連絡を正確に行います。

三 健康には常に注意し、健康な状態で就業します。

令和三年七月九日

公益社団法人 下松市シルバー人材センター

安全・適正就業推進大会